

2025 年度拠点利用者・来場者数・イベント参加者（のべ）

4,276 名

地域 1,073 名／大学生 758 名／一般 2,445 名

基町から、復興と創造を世界へ

基町プロジェクト

M98

2025 年度の記録

被爆 80 周年記念取組

世界とつながる基町

2025.05-2026.03

基町小学校児童が撮影した「平和な現在」の写真や説明カードを海外小学校へ送り、各国の日常写真や手紙の返信を通じて交流した。

小学校ガイドランス

2025.06.12 / 2025.06.13 / 2025.06.19

基町小学校で国際交流プロジェクトの導入授業を行い、世界のイメージや写真撮影の方法を児童に伝えた。

国際フェスタ掲示

2025.11.16

広島国際会議場で開催された国際フェスタ 2025 にて、「世界とつながる基町」の取組をパネル展示で紹介した。

基町写真展 2025

2025.07.19-2025.08.09

被爆 80 周年事業として、基町の生活と都市の変遷を伝える写真展を Hiropa と基町資料室で開催した。

小学 5 年生カメラオプスクラ WS

2025.06.19

基町小学校 5 年生が箱型カメラ・オプスクラで校内風景を観察し、光と像の仕組みを体験的に学んだ。

大きなカメラでスタジアムを映そう！

2025.08.02

巨大カメラ・オプスクラをスタジアムパーク芝生広場に設置し、来場者が逆さに映る風景を体験した。

基町写真展 2025 巡回展

2025.11.22-2025.12.25

Hiropa で開催した基町写真展 2025 を再構成し、広島市青少年センターで巡回展示を行った。



まなぶ

基町資料室 来場者集計

2025.04.01-2026.03.31

基町の歴史・建築・地域資料を常設展示し、年間 577 名が来場。見学者から地域記憶への関心が寄せられた。

基町資料室リニューアル

2025.07.31

来訪者の増加と関心の専門化に対応し、年表・解説文・展示台を拡充し、基町アパートの現状展示を追加した。

デジタルアーカイブ

2025.04.01-2026.03.31

基町に関する写真・関連資料の収集とデジタル化を継続し、新規写真 125 枚を追加した。

フィールドワーク論

2025.05.11-2025.06.28

国際学部の演習授業に協力し、基町資料室・住宅地区案内、特例的入居者や地元店舗への調査を支援した。

芸術学部油絵専攻地域展開型プロジェクト

2025.07.04

油絵専攻学生に基町の概要説明と地区案内を行い、リサーチに基づく制作と Unité での展示へ接続した。

現代表現領域の授業

2025.10.30

現代表現領域 2 年生の基町見学を支援し、地区案内と特例的入居者ガイドを通じて作品制作へ展開した。

広島大学+メリーランド大学デザインシャレット

2025.06.12 / 2025.06.19

国内外の学生による短期集中演習を受け入れ、旧大橋商店や屋上活用などをテーマに提案と意見交換を行った。

JICA ナイジェリア国別研修

2025.06.26

JICA 研修員を受け入れ、基町の概要説明、基町資料室、住宅地区、ショッピングセンターの視察に対応した。

日本建築学会による建物調査

2025.06.15

日本建築学会の視察を受け入れ、基町住宅地区や屋上集会所を案内し、維持管理やコミュニティ形成を議論した。

ひろしまたものがたりフェスタ見学会

2025.11.07

一般参加者 40 名に基町高層アパートを案内し、建築の特徴や屋上庭園、住民同士の交流空間を紹介した。

DOCOMOMO US 視察対応

2025.12.08

DOCOMOMO US の視察に対応し、屋上庭園、ショッピングセンター、基町資料室で地区の成り立ちを紹介した。

回想法ワークショップ

2025.04.25 / 2025.10.10

包括支援センターと連携し、昔の写真を用いた鑑賞会を開催。地域住民の記憶や生活史を聞き取った。

特別講義「案外、近くにある」

2026.02.13-2026.02.14

武蔵野美術大学と青柳中央会の地域連携事例を学び、基町での地域活動や大学連携の可能性を議論した。

NHK アーカイブ鑑賞

2025.08.31

1970 年代の基町アパート建設記録番組を地域住民と鑑賞し、転居前後の暮らしや地区の記憶を共有した。



つくる

After Pink

2025.05.01-2025.05.11

芸術交流プログラムを契機に会った 5 名による展示。離れた場所での制作と相互影響から生まれる表現を探った。

四季折々

2025.05.22-2025.05.25

広島市立大学芸術学部の学生 4 名が、絵画や立体などの手法で四季の魅力を表現した展示を行った。

難波平人展

2025.05.30-2025.06.08

昭和 38 年頃の基町相生通りスケッチを展示し、被爆 80 周年に広島復興の原風景を考える場を設けた。

河岸の現在史 II

2025.06.14-2025.06.15

戦後の河岸写真と現代の同一地点写真を展示し、水都・広島の変貌と基町周辺の風景変化を可視化した。

tokidoki・ときどき

2025.07.17-2025.07.19

交換留学学生が基町の建築や日常風景を写真で捉え、偶然の出会いや細部の魅力を参加型展示として表現した。

every bits, glimpses & fragments of beauty

2025.07.25-2025.08.02

修士学生が写真とミクストメディアを用い、日常風景の断片や記憶のきらめきを複数の視点から提示した。

REFLECTION

2025.09.05-2025.09.07

芸術学部学生が宮島・中工場・基町をリサーチし、約 3 週間の制作を経て成果展を Unité で開催した。

山本志帆「四角窓より、デルタの空白を望む」

2025.11.13-2025.11.23

太田川、干潟、海苔作りに着想を得た絵画と手書き和紙を展示し、自然と都市生活の関係を考察した。

The Seed

2025.11.28-2025.11.30

彫刻専攻と日本画専攻の 4 年生 3 名によるグループ展。異なる専門から共通テーマへの視点を示した。

オリジナルは誰のもの？

2025.12.06-2025.12.14

基町アパートのタイル補修を手がかりに、建築のオリジナル、管理、暮らし、記録の関係を問い直した。

現実的非現実展

2025.12.19-2025.12.21

情報過多の世界を背景に、現実と非現実のあいわをテーマとした若手作家 6 名によるグループ展を開催した。

六感の基町

2026.01.23-2026.02.01

現代表現領域 2 年生 6 名が、基町で感じ取った気配や記憶を「六感」を通して作品化し展示した。

点・転・展

2026.02.05-2026.02.14

金属造形を専攻する学生 3 名が、昆虫の自在置物、リング、工業製品の再構築など専門性を活かして展示した。

佐々木こひな個展「風と風のあいだ」

2026.02.20-2026.03.01

身体感覚から生まれる空間を線で描き、記憶・感情・感覚を重ねた新たな空間認知を探索の個展を開催した。

シミュレーション・フローラル

2025.11.21-2026.01.11

基町地区の花壇で見られる花をもとに、複数種を掛け合わせた架空の花の壁紙作品を MAW で展示した。

生活と時間と花

2026.02.05-2026.04.12

原爆投下後に咲いたカンナを起点に、住民との制作を通じて時間と生活の重なりを可視化した作品を展示した。

基町空間空想会議

2025.12.27

住民ヒアリングをもとに、空室や空き店舗に「あったらいい機能」を描き込み、未来の使い方を想像した。

基町空間空想会議 II

2026.03.01 / 2026.03.07

3D プリント模型とナノブロックを用い、基町の空き住戸・空き店舗に必要な機能や空間を参加者と検討した。



つなぐ

お絵描きワークショップ

2026.03.21

多文化共生を目的に、参加者の塗り絵を撮影し、各国の背景映像内で動的に表示する芸術体験を行った。

旧大橋商店運用

2025 年度

空き店舗を地域交流拠点として活用し、特例的入居者と既存住民、地区外参加者をつなぐ場として運用した。

ひまわり体操

2025.04.03-2026.03.31

旧大橋商店を会場に、包括支援センターの支援を受けながら、地区住民が毎週行う体操活動を継続した。

コーヒークラブ

2026.01.10

特例的入居者が主催し、コーヒークラフトジンの提供を通じて、住民や学生が緩やかに交流した。

盆踊りやぐら制作

2025.07

基町盆踊り大会で使用するやぐら看板を新たにデザイン・制作し、地域行事の視覚的な更新を支援した。

原爆死没者慰霊基町盆踊り大会

2025.08.10

基町小学校体育館で行われた慰霊祭の記録撮影を担当。雨天により盆踊りは実施されなかった。

基町地区敬老会

2025.09.15

基町地区敬老会の式典、演芸、レクリエーションの様子を記録撮影し、地域行事の継承を支援した。

基町地区町民体育祭

2025.10.26

町民体育祭の開閉式、競技、応援席、特例的入居者の参加の様子を記録撮影した。

防災見学会

2025.06.22

エディオンビースウィング広島とスタジアムパークで開催された地域向け防災見学会に同行し記録した。

ほのぼの花クラブ

2025.06.27 / 2025.10.24

基町小学校 2 年生と高齢者による花植え活動を記録し、世代間交流と地域環境づくりを支援した。

こいこい祭り

2025.11.30

基町ショッピングセンターで、シャボン玉遊び、懐かしい写真コーナー、カメラオプスクラを出展した。

多職種連携会議

2025.09.19

医療・福祉・介護・地域団体が集まる会議で基町プロジェクトを紹介し、新たな連携可能性を共有した。

基町小学校 6 年生 留学生インタビュ

2025.10.17

基町小学校の総合学習で、広島市立大学の留学生 2 名を紹介し、日本の魅力や将来像を考える授業を支援した。

徳弘元長功労賞贈呈式

2025.10.21

徳弘元基町地区社会福祉協議会会長の功労賞贈呈式を記録撮影し、集合写真を冊子化して贈呈した。

基町 KIDS ワーク&フェス

2025.11.08

小学校児童や卒業生、PTA、地域住民が協力して飲食ブース等を運営するイベントを記録撮影した。

基町小学校運営協議会

2025.05.13 / 2025.09.24 / 2025.12.16 / 2026.03.03

地域団体として学校運営協議会に参加し、学校運営状況や地域課題の共有、意見交換を行った。

悠悠タウン基町運営推進会議

2025.11.21

小規模多機能型居宅介護事業所の利用状況や地域連携について共有を受け、今後の協力可能性を確認した。

基町プロジェクト活動報告会

2026.01.30

年間の企画・連携事業を地域役員、学校、包括支援センター、中区役所、大学関係者に報告し意見交換した。

ACP についてのお話 撮影協力

2026.02.27

包括支援センターの ACP 講座で、希望者のポートレート撮影を行い、地域住民の記録と支援に協力した。

基町防災フェスタ

2026.03.01

基町防災フェスタを記録撮影し、もとまちタイムズ防災特別号に向けた参加者インタビューを行った。

基町ショッピングセンターマップデザイン

2026.02.01-2026.03.01

ワンダーウォークひろしま 2026 に向け、視覚造形学生 2 名が店舗案内やルートを示すマップを制作した。

視察対応・研究協力

集住研関西支部 視察対応

2025.09.05

建築分野の研究者・実務者を案内し、基町資料室や住宅地区の成り立ち、建物に関する情報を共有した。

宇都宮大学・修道大学 視察対応

2025.09.15

大学ゼミの視察を受け入れ、基町アパートの屋外空間、ショッピングセンター、活動拠点を案内した。

東京大学大月研究室 ヒアリング対応

2025.10.12

屋上・人工地盤研究のためのヒアリングに対応し、写真資料、整備経緯、現在の活用状況を共有した。

広島大学附属高校 調査対応

2025.10.25

高校生による基町ショッピングセンターの変遷調査に協力し、基町資料室と M98 でインタビュー対応した。

敬啓大学 PBL II フィールドワーク

2025.10.30 / 2026.02.06 / 2026.02.12

敬啓大学の課題解決演習に協力し、活動説明、ヒアリング、イベント案や掲示物案への助言を行った。

千葉県立美術館 高大正人展リサーチ

2025.11.11

高大正人展に向けた調査を受け入れ、基町資料室、住宅地区、ショッピングセンターを案内した。

藤本昌也氏 視察対応

2025.12.18

現代計画研究所の藤本昌也氏を案内し、建設経緯、現在の活用、今後の可能性について意見交換した。

P+ARCHIVE 意見交換

2026.02.21

P+ARCHIVE 井出氏と、小規模ギャラリーや UR 団地の写真アーカイブ事例を踏まえた意見交換を行った。



基町プロジェクト 活動拠点 M98
730-0011 広島市中区基町 16-17-2-103
OPEN：原則 木曜から日曜（12:00-17:00）
motomachiproject@gmail.com
PHOHE 082-555-8250
https://motomachiproject.net/